

地域活動の活性化に向けたワークショップ

# 福井地区ニュースレター

Vol.01 令和4年9月

次なる  
茨木へ。



福井地区では、「住み続けたいまち」を目指して、福井地区の未来を考えよう」をメインテーマに、地域の更なる活性化を目指して、全3回のワークショップを実施しています。令和4年8月7日（日）に開催した第1回のワークショップでは、4つのグループに分かれて2つのワークを行いました。

## ワーク1：福井地区の魅力と課題を見つけよう！

ワーク1では福井地区の地図を見ながら、丸シールと付箋を使って、福井地区の魅力と課題を出し合いました。各グループでたくさんの魅力と課題が出され、用意した地図が付箋で埋まるグループもありました。

「豊かな自然環境」、「歴史的名所が多くある」、「大型スーパーがあり買い物が便利」、「高速道路のインターが近く交通の利便性が高い」などの意見が各グループで共通して魅力としてあがり、「空家の増加」、「少子高齢化」、「自治会・連合自治会への未加入が増えている」、「川があるので防災面が心配」といった意見が共通した課題としてあがりました。



### ◆第1回実施概要

日時 2022.8.7（日） 13:30～15:30

会場 福井公民館

参加者数 22人

### プログラム

- 1 会長挨拶
- 2 ワークショップ趣旨説明
- 3 参加者自己紹介
- 4 手上げゲーム（アイスブレイク）
- 5 ワーク①：福井地区の魅力と課題を見つけよう！
- 6 ワーク②：魅力や課題を解決して実現したい「地域の将来像（夢）を考えよう！
- 7 グループ発表（全体共有）



## ワーク2：魅力や課題を解決して実現したい「地域の将来像（夢）」を考えよう！

ワーク2では、ワーク1の議論を踏まえて、①魅力を磨いてもっとこんなまちにしたい ②課題を解決してこんなまちにしたい、という意見を出し合い、最終的に各グループで、目指していきたい福井の将来像（スローガン）を決定しました。

### ○決定したまちづくりの将来像・スローガン

**グループ1 「みんなが集まるたまり場のある福井のまちづくり」**

**グループ2 「生活の利便性と歴史・緑の共存する福井」**

**グループ3 「ヒト・モノ・自然を活かした福井づくり」**

**グループ4 「みんながより関わり支え合う福井」**

### ○各グループの話し合い内容（抜粋）

グループ	ワーク2の主な意見
1	<ul style="list-style-type: none"><li>・調整区域は残して自然環境を維持したい。</li><li>・多世代が集まれる場所づくり（飲み屋、喫茶店、レストラン）。</li><li>・畑、農家住宅を有効活用。里山で遊んで失敗して学ぶ！</li><li>・子どもの安全な通学路が必要。</li><li>・コミュニティバスを走らせたい。</li></ul>
2	<ul style="list-style-type: none"><li>・新しく福井に住み始めた人とのつながりが無い。</li><li>・持続可能な、顔が見えるつながりが重要。</li><li>・農業の後継者が心配。</li><li>・福井の歴史の豊かさを学ぶ機会が無い。</li><li>・子どもが誇れる・好きになれるまちを目指したい。</li></ul>
3	<ul style="list-style-type: none"><li>・農業は福井の魅力。農業の魅力をもっと生かしていきたい。</li><li>・外部の人に入ってもらい、一緒に地域課題にアプローチ。</li><li>・地域の大きなビジョンが必要では。</li><li>・多様な問題を一括で受け入れる組織がなく、相談先がない。</li><li>・子どもの遊びが少ない。</li></ul>
4	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域で毎月行事・催しをしており、各団体が行事ごとに支え合っている。</li><li>・活動の洗い出し・整理が必要。</li><li>・活動を辞めるのは簡単。どう続けていけるか検討する。</li><li>・新しい人が地域活動に関わりやすいように、役割を明確にして負担を軽減！</li><li>・地域活動に無関心な人への声かけが必要では？</li></ul>

次回ワークショップは9月11日（日）。今回決定した「地域の将来像（夢）」を実現するために、「関連する今ある活動」と「今後取組が必要な活動」を共有するワークショップを行います。